

2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン登録について (報告)

1. 本県の第三次申請に対する結果について

(1) 本県の登録結果

12月9日(金)、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部事務局よりホストタウン第三次登録について発表があり、本県から申請した1件が新たに登録された。

| 概要(公表内容) | | |
|-------------|-----|--|
| 登録団体名 | 相手国 | 取組の特色 |
| 守山市・ 滋賀県 | トルコ | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた共生社会の実現に向け障害者スポーツ(視覚障害者柔道および守山市に根付きつつあるゴールボール)を端緒とし、両競技関係者の人的ネットワークを生かしながらトルコの事前合宿誘致を進める。 ・市・県・大学等が連携し、幅広い競技の受入れや文化・教育面への取組の展開を図る。 |

(2) 登録までの経緯

障害者福祉に先駆的に取り組んできた歴史を生かし、障害者スポーツを端緒とする滋賀ならではのホストタウンを目指し、登録に向け以下のようなプロセスで関係者との連携体制を構築した。

- ① リオパラリンピック開催時に本県在住の視覚障害者柔道のコーチを通じてトルコ等に対し事前合宿誘致等をPR
- ② NPO 法人日本視覚障害者柔道連盟との間でスポーツ交流やトルコ側との橋渡しの協力を依頼
- ③ 一般社団法人日本ゴールボール協会との間で視覚障害への理解促進、ゴールボールの普及に向けたトルコとの交流への協力を依頼
- ④ トルコ共和国を訪問し、トルコ視覚障害者連盟およびトルコ柔道協会のキーパーソンと面会し、本県との交流を提案、あわせて在トルコ日本大使館にホストタウン推進の協力を依頼
- ⑤ トルコ共和国大使館(東京)を訪問し、スポーツのみならず文化・経済面での交流についての協力関係の構築を依頼

2. 全国の登録状況について

(1) 登録状況

第一次から第三次までの登録状況は以下のとおり。

| 時期 | 申請数 | 登録数 | 本県の状況 |
|-----------------------|---------|-----|---|
| 第一次登録 (平成28年1月26日) | 新規 69 | 44 | — |
| 第二次登録 (平成28年6月14日) | 新規 58 | 41 | ①滋賀県—大津市/デンマーク ②米原市—滋賀県/ニュージーランド の2件の登録 |
| | 継続審査 25 | 6 | |
| 第三次登録 (平成28年12月9日) | 新規 65 | 36 | ③守山市—滋賀県/トルコ の1件の登録 |
| | 継続審査 36 | 11 | |
| 計 | 新規 192 | 138 | — |

(2) 今後の予定

平成29年度も、引き続き登録が実施される予定（年に複数回）。

3. 今後の取組の方向性について

- ・トルコとの障害者スポーツ（視覚障害者柔道、ゴールボール）を端緒とした交流を推進することで、障害の有無に関わらず一緒にスポーツに親しめる環境づくりを図る。
- ・トルコ視覚障害者連盟等のコネクションを通じて、柔道やゴールボール競技以外の他競技へも交流拡大を目指す。
- ・大学等県内各地の関係者と、ゴールボールが根付きつつある守山市が連携し、ホストタウンの成果を地域の活性化に効果的に取り込んでいく。
- ・既登録のホストタウンとの連携と相乗効果の発揮を図る。
- ・ホストタウンの推進により得られた成果を、滋賀県における2021年ワールドマスターズゲームズ、2024国体・全国障害者スポーツ大会に生かす。

4. その他

- ・12月9日（金）ホストタウン第三次登録決定にかかる守山市・滋賀県共同記者会見を開催し、市民・県民への周知を図った。

[出席者] 三日月知事
宮本守山市長
滋賀県柔道連盟坂下理事
一般社団法人日本ゴールボール協会西村副会長

